

災害遺構の保存事例

	名称	所在地	概要	維持管理等	事業費	維持管理費
1	金比羅火口災害遺構散策路	北海道虻田郡洞爺湖町	2000年3月の有珠山噴火の熱泥流により被災した町営公衆浴場、公営住宅、熱泥流により流された橋が保存され、散策路が整備されている。	散策路内の民有地や建物は洞爺湖町が買収し取得して、建物の管理、散策路の整備及び管理は町が行っている。	建物については整備費用なし	建物については維持管理費なし
2	西山(にしやま)山麓火口散策路	北海道虻田郡洞爺湖町	2000年3月の有珠山噴火の際の地盤隆起や地割れで歪んだ菓子工場、倒壊した民家、噴石の直撃を受けた幼稚園が保存され、散策路が整備されている。			
3	国道342号旧祭時(まつるべ)大橋	岩手県一関市巖美町	2008年6月の岩手・宮城内陸地震で崩落した橋の橋脚と橋げたの一部が現地で保存され、展望地と見学通路が整備されている。	岩手県が対策工事を実施して一関市に無償譲渡し、市が管理している。	(県)保存・撤去工事 約1億円 (市)遺構整備 約3,000万円	橋自体の維持管理費用はなし(安全確保の地盤観測経費のみ)
4	阿古小中学校・溶岩埋没跡	東京都三宅村	1985年の三宅島噴火の溶岩流により埋没した小学校及び中学校が保存され、見学者の安全対策として2008年に火山体験遊歩道が整備された。	校舎の管理、遊歩道の整備及び管理は三宅村が行っている。	遊歩道整備 約2,000万円 (校舎については整備費用なし)	校舎については維持管理費用なし
5	椎取(しいとり)神社	東京都三宅村	2000年の三宅島噴火による泥流により埋没した社殿と鳥居が保存されている。	隣接地に社殿と鳥居が再建され、神社が管理している。	—	—
6	木籠(こごも)集落水没家屋	新潟県長岡市山古志	2004年10月の新潟中越地震に伴う河道閉塞により土砂に埋もれた家屋が残されている。	国土交通省が買収し河川区域内になり、手をかけず「存置」されている。一帯は木籠メモリアルパークとして位置づけられている。	—	—
7	神戸港震災メモリアルパーク	兵庫県神戸市中央区	1995年1月の兵庫県南部地震により被災した、メリケンパークの岸壁の一部約60メートルが被災当時のままの状態で見学され、海上から見学できる回廊が整備されている。	阪神・淡路大震災復興支援資金の助成を受けて神戸市が整備し、管理運営している。(指定管理者:(一社)神戸港振興協会)	遺構保存 2億円 展示物 0.9億円 園路等 1.9億円 PR費 0.4億円 計 5.2億円 (国庫補助 2億円, 寄付等 3.2億円)	(市) H22:2,236千円 H23:2,390千円 H24:2,390千円
8	北淡震災記念公園	兵庫県淡路市	1995年1月の兵庫県南部地震により現れた野島断層と活断層真横にあった民家が保存されている。また、戦火と大震災の大火に耐えた防火壁が神戸市から移設され、「神戸の壁」として保存されている。	北淡町(現:淡路市)が整備(断層保存館は兵庫県が整備)し、淡路市が管理運営している。(指定管理者:(株)ほくだん)	用地費 4.59億円 断層保存館 20億円 メモリアルハウス1.95億円 その他 約7億円 (国庫補助なし)	(市)約5,000万円 (土地・建物の賃借料) (指定管理者)約9,600万円 (入館料収入だけで運営)
9	土石流被災家屋保存公園	長崎県南島原市深江町	雲仙普賢岳噴火に伴う1992年8月に発生した土石流で被災した家屋11棟が保存されている。	長崎県が公園を整備し、南島原市が指定管理を行っている。	4億8,000万円 (地方債 4億3,000万円 一般財源 5,000万円)	H22:1,570千円 H23:2,127千円 H24:3,500千円
10	旧大野木場(おおのこば)小学校	長崎県南島原市深江町	雲仙普賢岳噴火に伴う1991年9月の大火砕流により焼失した校舎が保存されている。	深江町(現:南島原市)が保存工事を行い、南島原市が維持管理している。	4,500万円 (地方特定河川等環境整備事業(起債事業))	H22:15,945千円 H23:なし H24:263千円